

令和7年度「DX ポータルサイト「横浜 DIGITAL 窓口」に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、
事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q5の「見づらいつと感じた理由をお答えください。」の質問では、「ごちゃごちゃしている」や「デザインはよいが、すぐに必要な項目が見つからない」などのご意見をいただきました。これらのご意見を踏まえ、TOP 画面の情報を分かりやすく伝えるため、ウェブサイトの構成変更を実施する予定です。

また、Q7の「「横浜 DIGITAL 窓口」のコンテンツの中で、より充実したほうが良いと思うものを選んでください。」の質問では、選択項目以外に「検索機能の充実」などのご意見をいただきました。この結果を踏まえ、よりユーザーが必要な手順を見つけやすくするため、検索機能の強化を実施する予定です。

2 アンケートを実施した感想

Q8の「『横浜 DIGITAL 窓口』をより多くの方に知ってもらうためには、どの広報媒体が効果が高いと思いますか。」の質問では、「ア 広報よこはま（市版・区版）」を選んだ方が73.3%と最も多く、広報手段として有効であることが確認できました。

広報よこはま（市版・区版）は紙媒体でも Web でもご覧いただけるという強みを持っているということもあるため、今後の広報活動の参考とさせていただきます。

3 担当部署の e アンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

横浜 DIGITAL 窓口に関する率直なご意見・具体的なお意見ををいただくことができ、大変参考になりました。

今後も、オンライン手続や横浜市のデジタル施策について分かりやすくご案内できるウェブサイトを目指していきます。

担当：デジタル統括本部デジタル・デザイン室

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。